

総務企画委員会記録  
<第3号>

平成30年第7回沖縄県議会（10月定例会）

平成30年10月24日（水曜日）

沖縄県議会

総務企画委員会記録<第3号>

開会の日時

年月日 平成30年10月24日 水曜日  
 開 会 午後 6 時37分  
 散 会 午後 6 時45分

場 所

第4委員会室

議 題

- 1 平成30年  
 第6回議会 平成30年度沖縄県一般会計補正予算（第1号）  
 甲第1号議案

出席委員

委 員 長	渡久地	修 君
副 委 員 長	新 垣 光	栄 君
委 員	花 城 大	輔 君
委 員	又 吉 清	義 君
委 員	中 川 京	貴 君
委 員	宮 城 一	郎 君
委 員	当 山 勝	利 君
委 員	仲宗根	悟 君
委 員	玉 城	満 君
委 員	比 嘉 瑞	己 君
委 員	上 原	章 君

委員 當 間 盛 夫 君

委員外議員 なし

---

欠 席 委 員

仲 田 弘 毅 君

---

○渡久地修委員長 ただいまから、総務企画委員会を開会いたします。

平成30年第6回議会甲第1号議案平成30年度沖縄県一般会計補正予算（第1号）を議題といたします。

議案の質疑については、平成30年10月10日に開かれた本委員会において全て終結し、採決を残すのみとなっております。

休憩いたします。

（休憩中に、議案の採決順序・方法等について協議）

○渡久地修委員長 再開いたします。

これより、議案の採決を行います。

平成30年第6回議会甲第1号議案平成30年度沖縄県一般会計補正予算（第1号）の採決を行います。その前に意見、討論等はありませんか。

中川京貴委員。

○中川京貴委員 我々自民党は、今回の県民投票に当たっては米軍基地関係特別委員会の中でも全会一致をもって県民投票をすべきだということで何度も話し合いを持ったはずであります。そういった意味では、今県が進めようとしております条例に関しては、まだ6カ所が意思表示をはっきりさせない、石垣市議会は意思表示をはっきりさせましたが、そういった状況の中での県民投票、そして予算だけを見切り発車して市町村におろすことに対しては反対であります。本来、予算であるならば前もって県が事前に確認をとって、そして市町村の理解を得た結果、各市町村で予算が通って県民投票が実施できるということの中での県民投票、そして予算のあり方であれば賛成しますが、現状の中では

まだ市町村の理解が6カ所から得られていないということが米軍基地関係特別委員会の中でも判明しております。そういった意味では今回の予算のあり方については少し禍根を残すような審議ではないかということで、反対討論といたします。

○渡久地修委員長 ほかに意見、討論等はありませんか。  
宮城一郎委員。

○宮城一郎委員 私たち社民・社大・結連合会派といたしましては、先ほどの米軍関係特別委員会の議論等々も拝見する中で、一義的に請求者の望むところが反映されるべきという立場で賛成したいと考えています。

○渡久地修委員長 ほかに意見、討論等はありませんか。  
當間盛夫委員。

○當間盛夫委員 私も米軍基地関係特別委員会で先ほどの修正審議をさせてもらったのですが、県民投票という大変重い請求の中で、全会一致にならなかったということは大変残念な部分もあります。そういった面からすると、与党も歩み寄りをもってこの県民投票の意義をもう少し考えてもらって、野党が出すものにどれだけ歩み寄れるかという面において、与党が数を持っているから押し進めるということではなく、この基地問題、ましてこの県民投票ということになるともう少し与党の皆さんに対応の仕方をお願いしたかったなと思っています。そういった意味からすると、皆さんがこれを押し進めたことで投票率といったものをどういう形で我々県議会が責任を持つのかということが私は懸念されるところであります。我々は県民投票をやるべきだということで4年前にさせてもらいましたので、県民投票に意義はあるとは思っています。しかし、裁判が終わった後の県民投票、最高裁が出た後の県民投票はいかかなものかということも踏まえながら、きょう米軍基地関係特別委員会で出されたことも踏まえながら、我々会派でもう一度議論をさせてもらいますので、きょうの採決は退場させてもらって、本会議で対応を表明したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○渡久地修委員長 休憩いたします。

(休憩中に、維新の会会派所属の當間委員が退室した。)

○渡久地修委員長 再開いたします。  
ほかに意見、討論等はありませんか。

(「意見、討論等なし」と呼ぶ者あり)

○渡久地修委員長 意見、討論等なしと認めます。

以上で、意見討論等を終結いたします。

これより、平成30年第6回議会甲第1号議案平成30年度沖縄県一般会計補正予算(第1号)を採決いたします。

本案は、挙手により採決いたします。

なお、挙手しない者は、これを否とみなします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

(挙手多数)

○渡久地修委員長 挙手多数であります。

よって、平成30年第6回議会甲第1号議案は、原案のとおり可決されました。

休憩いたします。

(休憩中に、維新の会会派所属の當間委員が入室した。)

○渡久地修委員長 再開いたします。

次に、お諮りいたします。

ただいま議決しました議案等に対する委員会審査報告書の作成等につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○渡久地修委員長 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定いたしました。

以上で、本日の議題は全て終了いたしました。

委員の皆さん、大変御苦労さまでした。

本日の委員会は、これをもって散会いたします。

沖縄県議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

委員 長 渡久地 修